

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

令和4年 8月 31日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	松浦企業株式会社
所 在 地	神奈川県横浜市鶴見区寛政町1番6号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役 松浦 泰弘
担 当 者 連 絡 先	電 話：045—521—5134（担当：中村 勇太）
	メー ル：nakamura_y@matsuurakigyō.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	http://www.matsuurakigyō.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

昭和10年3月に砂利・石材の販売から出発した当社は、現在、「港湾工事」と「建設資材の採取販売」を二本柱として事業を行っています。 「港湾工事」では、横浜・東京の港を中心に、自社船の「第七金剛丸」「第三隆盛丸」を用いた浚渫工事や、防波堤やケーソン等の構造物工事の請負事業を実施しています。 「建設資材の採取販売」では、千葉県富津市と鋸南町に採取場を所有し、生コンやアスファルトの材料となる砂や碎石等を建設骨材として、主に神奈川県の生コン・合材工場に供給しています。

3 側 面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
□環境 □社会 ✓経済	所有船を改良し（操作系統の電子化、コンピュータによる操作）、クレーン運転を自動・自律化することで、生産性の向上と、オペレータの負担軽減を図る。	浚渫作業船クレーン運転（昇降・開閉・旋回・起伏）の自動・自律化 【現状】0 隻 【目標】1 隻（第七金剛丸）
✓環境 □社会 □経済	電気自動車（EV）を導入することで、CO2 排出量の削減を図る。	EV 車両数 【現状】0 台 【目標】3 台
□環境 ✓社会 □経済	町内会等の清掃活動に参加し、地域貢献を図る。	清掃活動 【現状】0 回／年 【目標】2 回／年

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・ハラスメント(パワハラ、セクハラ、モラハラ等)に関する規程を就業規則に記載、相談窓口の周知、社員教育を実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる									8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・毎年「安全衛生委員会」にて、「安全衛生計画」・「安全目標」を作成し、安全大会にて社内・協力会社に重点施策の周知徹底を行っている。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・ストレスチェックを年1回実施し、その結果に基づき医療機関での診察を促している。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・資格取得にかかる費用(受験料等)を負担している。 ・社外研修費用を全額負担している。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している					5.5				8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・「横浜健康経営認証(クラスA)」を取得している。			3					8									
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・リサイクルの推進を行っている。(古紙・段ボール、ペットボトル:エコキャップ運動) ・現場で発生する産業廃棄物を種類ごとに分別し、適切な処分を行っている。											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている								7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・自社ダンプの運行管理にデジタルタコメーターを導入し、安全走行による燃費向上・使用燃料の削減を実施している。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3						11.6	12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・保有船舶の油圧作動部分に、生分解性油圧作動油(天然のバクテリアにより生分解されるため、油漏れ等による環境汚染を防止できる)を使用し、環境保全に努めている。					6.6									15			

カテ ゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・自社浚渫船(第七金剛丸)にて、発生したし尿を処理し、処理した水をオゾンで殺菌して洗浄用水及び緑化スペースに散水再利用している。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・自社浚渫船(第七金剛丸)にて、太陽光パネルを設置し、発電された電気を発電機の負荷低減に活用している。また、照明設備にはLEDを採用し消費電力を抑制している。							7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・いちご狩り農園(富津アクアフาร์ม)にて、使用した培土を太陽熱処理することで、廃棄せず翌シーズンの栽培に再利用している。また、栽培に必要な養液を循環利用している。												12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している				3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・品質マネジメントに関する認証「ISO9001」を取得している。									9								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・いちご狩り農園(富津アクアフาร์ม)では、子供やベビーカー・車椅子の方が利用できるように、通路を広くし、いちごを上下二段に分けて栽培する等、配慮した施設としている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・横浜港災害対策支援協議会に所属し、横浜港において激甚な自然災害が発生した際に、応急対応で必要となる建設資機材、技術者及び労働力を提供できる体制を整えている。				4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・横浜市のウクライナ支援募金活動に賛同し、支援金を贈呈している。 ・創業者(故・松浦信太郎)が収集した美術品を、横浜美術館に寄贈している。				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	・いちご狩り農園(富津アクアフาร์ม)では、地元の富津市において、「ふるさと納税」の返礼協賛商品として冷凍イチゴを提供している。								8	9		11	12	13				

2023 年 10 月 6 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	神奈川県横浜市鶴見区寛政町 1-6
名称：	松浦企業株式会社
代表者：	代表取締役社長 松浦 泰隆
登録年月日：	2022 年 9 月 21 日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
☐ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	所有船を改良し(操作系統の電子化、コンピュータによる操作)、クレーン運転を自動・自律化することで、生産性の向上と、オペレータの負担軽減を図る。	浚渫作業船クレーン運転(昇降・開閉・旋回・起伏)の自動・自律化 【現状】0 隻 【目標】1 隻(第七金剛丸)	【現状】1 隻(第七金剛丸) 2023. 09. 19 搭載
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	電気自動車(EV)を導入することで、CO2 排出量の削減を図る。	EV 車両数 【現状】0 台 【目標】3 台	【現状】0 台 【目標】3 台
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	町内会等の清掃活動に参加し、地域貢献を図る。	清掃活動 【現状】0 回/年 【目標】2 回/年	【現状】1 回/年 2022. 12. 16 実施 【目標】2 回/年

2024 年 11 月 5 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	神奈川県横浜市鶴見区寛政町 1-6
名称：	松浦企業株式会社
代表者：	代表取締役社長 松浦 泰隆
登録年月日：	2022 年 9 月 21 日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
☐環境 ☐社会 ☒経済	所有船を改良し(操作系統の電子化、コンピュータによる操作)、クレーン運転を自動・自律化することで、生産性の向上と、オペレータの負担軽減を図る。	浚渫作業船クレーン運転(昇降・開閉・旋回・起伏)の自動・自律化 【現状】0 隻 【目標】1 隻(第七金剛丸)	【現状】1 隻(第七金剛丸) 2023. 09. 19 搭載
☒環境 ☐社会 ☐経済	電気自動車(EV)を導入することで、CO2 排出量の削減を図る。	EV 車両数 【現状】0 台 【目標】3 台	【現状】0 台 【目標】3 台
☐環境 ☒社会 ☐経済	町内会等の清掃活動に参加し、地域貢献を図る。	清掃活動 【現状】0 回/年 【目標】2 回/年	【現状】1 回/年 2022. 12. 16 実施 2023. 12. 15 実施 【目標】2 回/年

2025 年 9 月 2 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	神奈川県横浜市鶴見区寛政町 1-6
名称：	松浦企業株式会社
代表者：	代表取締役社長 松浦 泰隆
登録年月日：	2022 年 9 月 21 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 □社会 ✓経済	所有船を改良し(操作系統の電子化、コンピュータによる操作)、クレーン運転を自動・自律化することで、生産性の向上と、オペレータの負担軽減を図る。	浚渫作業船クレーン運転 (昇降・開閉・旋回・起伏)の自動・自律化 【目標】1 隻(第七金剛丸)	【現状】1 隻(第七金剛丸) 2023. 09. 19 搭載
✓環境 □社会 □経済	電気自動車(EV)を導入することで、CO2 排出量の削減を図る。	EV 車両数 【目標】3 台	【現状】0 台 【目標】3 台
□環境 ✓社会 □経済	町内会等の清掃活動に参加し、地域貢献を図る。	清掃活動 【目標】2 回/年	【現状】1 回/年 2022. 12. 16 実施 2023. 12. 15 実施 2024. 12. 13 実施 【目標】2 回/年